

49 愛知工業大学

Aichi Institute of Technology

AIT 学生フォーミュラ研究会

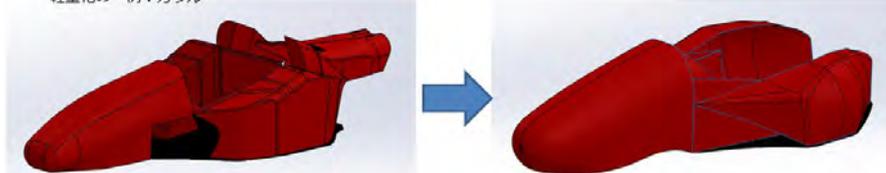
AIT Student Formula Club

<http://aitech.ac.jp/~fujimura/formula/indexSAE2.html>

全種目完走 総合20位以内をめざして



軽量化の一例：カウル



AIT - 14

AIT-15



今回の総合結果・部門賞

●総合24位

Profile チーム紹介・今までの活動

我々は、今年度は総合20位以内をめざして活動してきました。その結果、前年度より順位を大幅に上げることができましたが、目標の20位以内に入ることはできませんでした。来年度は、さらに上位をめざして参ります。

Team-member チームメンバー

工藤 健太 (CP)

藤村 俊夫 (FA)
大野 雄飛、青山 大輝、瀧 直史、井出 知秀、
栗田 直記、中村 真也、青木 伸也、水谷 佳景流、
神藤 暉、平田 貴寛、水野 貴大、二上 泰輔、
森川 雄基、山田 大輔

Presentation

プレゼンテーション

私たちは、昨年度マシンをベースに、マシンの改良を行ないました。基本構造の大幅な変更はしないものの、改良点として、まずマシンの軽量化を行ないました。目標を昨年度比20kg以上の削減とし、各パーツの軽量化・安全率の適正化やカウルの形状および材質の変更等によりトータルで20kgの軽量化に成功しました。

また、ボディ系の改良として、シートポジションをリクライニング姿勢にすることで、アイポジションを下げ、ドライバーの操作性の向上を行ないました。その他、パワートレイン系の新たな試みとして、車両の完成前に車両レスでのエンジンやCVTの適合を行なうためのシミュレーター装置を設計・開発し、エンジン性能評価を行ないました。

マシン完成後は学外にて走行テストを充分に行ない、長距離の走行に耐えることができるのか、燃費はどうか、オイルや燃料などの漏れは発生しないか等の確認を行ないました。

次年度ではマシンのセッティングを行なう時間を充分に設けるために、マシンの完成を年度内に行ない、走行に適したマシンの製作を行なっていきます。

Participation report

参戦レポート

私たちのチームは今年度で6回目の大会参戦となります。今年度は、全種目完走は当然ながら、総合順位「20位以内」に入ることができるよう、1年間活動してきました。

今年はマシンを完成させた後、マシン不備の改善を徹底的に行ない、大会に臨みました。当日は安全の面で指摘を受けましたが、すぐに修正を行ない、車検を通過することができました。動的審査では、昨年度荒天のために完走できなかったエンデュランスは「完走」することができました。また、オートクロスでは昨年度のベストタイムを約1秒縮めることができました。静的審査では、デザイン審査とプレゼンテーション審査は順位を上げることができましたが、プレゼンテーション審査では大会直前になって慌てて資料を作ったので満足はいくものができず良い結果とはなりません。

来年度は今年度のマシンの改良とともに、マシン完成を年度内に行ない、静的審査に力を注げるよう努力して参ります。

Sponsors スポンサーリスト

ヤマハ発動機、FTテクノ、エイアイテック、アルトナー、
タカタ、ソリッドワークス、岡島パイプ、渡辺工業、日信
工業、OZジャパン、前田シェルサービス、アネブル、東
洋高周波工業、住友ゴム工業、THK、FCC、OSG、
サード、NTN、アクティブ、鍋屋バイテック、スズヒロフ
ォークリフト、アクセル、協和工業、住友電装、タマチ
工業、ウエストレーシングカーズ、栄進堂、丸弘鋼材

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/49.html>